

## 「ほんわか・ほ支援金」を活用してみませんか

応募締め切りは6月29日(金) / 1事業につき5万円を上限に予算総額は30万円

この支援金は若穂自治協独自のものです。団体やグループ、区による【地域振興】【防災・安全】【福祉・健康】【教育・子育て】【文化・伝統】【スポーツ】【環境・美化】【情報発信】などの面で地域に貢献する事業が対象。政治的、宗教的なものや飲食・人件費などは対象外です。事前に事務局(☎050-3583-5700・有線2062)までご相談ください。

### 《23年度交付実績》

交付先	交付額(円)
おはなしドレッシング	20,000
若穂友好会・若穂睦	20,000
綿っ子ランニングクラブ	20,000
若穂ランニングクラブ	50,000
浦町神楽保存会	20,000
あひるっこ	20,000
紙芝居の会いなほ	20,000

どうすれば受けられるの？

- ①「交付申請書兼事業計画書」(様式1)で事務局へ申請します。用紙は事務局にあります。
- ②交付審査委員会で金額査定を含めて審査し、予算の範囲内で交付事業を決定します。
- ③原則として交付金は決定時に二分の一、完了時に残りの二分の一を交付します。

前号に引き続き、4月26日の定期総会で承認された23年度決算と、可決された24年度予算の概要について報告します。

## 23年度決算と24年度予算の概要報告 (続)



更新した福祉自動車

### 【福祉自動車運行事業特別会計】 (歩行困難者の通院を支援する事業で、若穂は2台の福祉自動車を運行)

23年度決算 (円)			24年度予算 (円)		
歳入決算額	歳出決算額	差引金額	歳入予算額	歳出予算額	前年度当初予算比較増減
1,426,995	1,380,964	46,031	1,681,000	1,681,000	104,000

### 【福祉自動車更新準備金特別会計】 (福祉自動車更新のための積立で、24年度は市から300万円の補助を受けて普通車1台を更新。なお、もう1台の軽の方はリースで対応)

23年度決算 (円)			24年度予算 (円)		
歳入決算額	歳出決算額	差引金額	歳入予算額	歳出予算額	前年度当初予算比較増減
4,203,940	0	4,203,940	7,204,000	4,004,000	3,001,000

### 【特別世帯更生資金特別会計】 (福祉施策の一環としての生活費貸付事業で、今年度はその存廃についても検討)

23年度決算 (円)			24年度予算 (円)		
歳入決算額	歳出決算額	差引金額	歳入予算額	歳出予算額	前年度当初予算比較増減
120,004	0	120,004	161,000	0	972

【災害積立金特別会計】 (災害対応の積み立てで、次の災害り災者慰問と含めて今年度はその在り方を再検討)

23年度決算 (円)			24年度予算 (円)		
歳入決算額	歳出決算額	差引金額	歳入予算額	歳出予算額	前年度当初予算比較増減
2,736,764	0	2,736,764	2,737,000	2,737,000	0

【日本赤十字社長野市地区若穂分区災害り災者慰問特別会計】 (災害り災者慰問のための積み立て)

23年度決算 (円)			24年度予算 (円)		
歳入決算額	歳出決算額	差引金額	歳入予算額	歳出予算額	前年度当初予算比較増減
2,835,119	0	2,835,119	2,836,000	2,836,000	3,000

【財産 (基金) の状況】

《 若穂大橋建設促進基金 》

平成25年3月31日見込み (円)
1,830,439

\* 若穂地区地域開発推進委員会が、かつて若穂大橋建設促進のために積み上げてきた資金を基金として引き継いだもの。今後の開発事業に行使する予定です。

《 財政調整基金 》

平成25年3月31日見込み (円)
3,500,433

\* 各団体の予算を自治協に一本化した際の、繰越金の一部を基金として積み立てたもの。財源不足や大きな事業で一時的支出が必要となった場合に備えています。



**残念！若穂、今回は「落選」**

100万円を限度に自治協がおこなう事業を支援する市の「地域やる気支援補助金」。若穂は屋代線記録集発行(200部)とバス時刻表の作成(全戸配布)を企画して応募しましたが、残念ながら「落選」……。といっても実施したい事業ですから、執行会議では一般会計を補正して取り組むことを決めました。

**独創的、意欲的な事業が目白押し**

この補助金は3年目になりますが、今年は17自治協が18事業を応募。プレゼンを含めて全体的にレベルアップしていて、かなりの激戦となっています。来年度に向けた十分な検討と作戦が必要だと感じさせられた選考会でした。

**今年の「若穂ふれあい踊り」は7月28日(土)**

実行委員会(委員長: □□□□商工会若穂支部長)と自治協の共催によるもので、今年で42回を数えます。

**“宝くじ”から、若穂に130万円の助成金**

これは自主防災活動に対する“宝くじ”からの助成で、市消防局を通じて自治協が応募していました。若穂地区自主防災会として、法被や小型無線機などを整備し防災体制を強化します。

**跡地活用で「屋代線跡地活用推進委員会」発足**

より全体的な見地から検討を深めその実現を図るため、5月30日に新たな委員会がスタートしました。これまでの若穂地区作業部会に地元県議・市議・農業委員や代表区長・当該区長・開発推進委員(3地区)などの皆さんが加わりました。

**11月に(仮称)「ながの とびっくラン in わかほ」を開催**

子育て青少年育成協議会などが中心となって、若穂で初めてのマラソン大会を計画しています。コースは3Km, 5Km, 10Kmで8百人規模を見込みます。若穂をあげたビッグイベントです。

【訂正】前号で紹介した退任役員の内、監事の□□□□さんは□□□□さんの誤りでした。お詫びして訂正します。

HP <http://honwaka-ho.jp/jichikyo> をご覧ください。